

平成21年産米の相対取引価格(出荷業者)(速報)
(平成22年8月)

(単位:円/玄米60kg)

産地	品種銘柄	地域区分	22年8月 ①	参考			
				22年7月 ②	21年8月 ③		対前年比 ①/③
					対前月比 ①/②		
青森	つがるロマン		13,493	13,566	99%	13,941	97%
青森	まっしぐら		12,879	12,815	100%	—	—
岩手	ひとめぼれ		13,689	14,525	94%	15,295	89%
宮城	ひとめぼれ		14,145	14,329	99%	—	—
秋田	あきたこまち		14,845	14,072	105%	15,153	98%
山形	はえぬき		13,697	14,144	97%	14,370	95%

産地	品種銘柄	地域区分	22年8月 ①	参考			
				22年7月 ②	21年8月 ③		対前年比 ①/③
					対前月比 ①/②		
福島	コシヒカリ	会津	14,735	15,043	98%	—	—
栃木	コシヒカリ		13,993	14,244	98%	14,864	94%
新潟	コシヒカリ	一般	15,935	16,086	99%	—	—
富山	コシヒカリ		14,066	14,810	95%	15,745	89%
熊本	ヒノヒカリ		13,723	13,763	100%	—	—
全銘柄平均価格			14,106	14,214	99%	15,000	94%

資料:農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注:1)相対取引価格は、①全国出荷団体、②年間の玄米仕入数量が5,000トン以上の道県出荷団体等、③年間の直接販売数量が5,000トン以上の出荷業者と卸売業者等の主食用の相対取引契約(数量と価格が決定した時点を基準としている。)の価格(運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格。)であり、その契約数量を用いて加重平均した価格である。

その際、新潟、長野、静岡以東(東日本)の産地品種銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西(西日本)の産地品種銘柄については受渡地を西日本としているものを加重平均している。

2)また、相対取引価格は、個々の契約数量に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の引取状況に応じて等級及び付加価値等(栽培方法等)の価格調整が行われることがある。

3)産地品種銘柄は、20年産でコメ価格センターに上場があった産地品種銘柄で、かつ、月1,000トン以上の取引があったものである。

4)全銘柄平均価格は、報告対象産地品種銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均した価格である。

5)21年8月は20年産の価格である。